

5.2.3. 土壌及び地盤の状況

1) 土壌

(1) 土壌の分布状況

計画地周辺の土壌の状況は、図 5.2.3-1 に示すとおりである。

計画地では、細流グライ土壌の山田統や、グライ土壌の片柳統、細粒灰色低地土壌の平塚統が分布している。また、計画地周辺では、それらに加え低位泥炭土壌の下八ッ林統や細粒灰色低地土壌の下樋遣川統、褐色低地土壌の新戒統などが分布している。

(2) 土壌の汚染状況

埼玉県では、土壌汚染対策法や埼玉県生活環境保全条例に基づき、有害物質使用特定施設の廃止時や土地の改変時など、一定の要件を満たした場合に、敷地の土壌汚染の状況を調査し結果を知事に報告することとしている。平成 14 年の条例施行から平成 20 年度までに 1,612 件の報告があり、うち 229 件の汚染が判明し、171 件については浄化が完了している。

農用地については、昭和 46 年度から農用地の土壌汚染状況を把握するため、県内における分析調査を 5 年に一度行っている。土壌汚染状況調査結果は、表 5.2.3-1 に示すとおりであり、各項目ともに農用地土壌汚染対策地域の指定要件基準を下回っている。

表 5.2.3-1 土壌汚染状況調査結果（水田土壌中および玄米中）

調査年度		調査地点の分析測定結果								
		土壌中（乾物）						玄米中（現物）		
		銅（基準値 125mg/kg）			砒素（基準値 15mg/kg）			カドミウム（基準値 1mg/kg）※		
		最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
一巡目	S.54～S.57	32.3	0.1	11.3	11.8	tr	1.9	0.37	0.02	0.11
二巡目	S.59～S.62	23.6	0.1	9.0	5.3	tr	1.4	0.30	nd	0.09
三巡目	H.元～H.4	21.6	0.3	9.3	8.0	tr	1.8	0.38	tr	0.09
四巡目	H.6～H.9	28.7	0.2	9.4	13.1	tr	2.2	0.30	tr	0.06
五巡目	H.11～H.14	30.8	0.1	11.2	11.3	0.1	2.0	0.28	tr	0.09
六巡目	H.16～H.19	21.5	tr	8.9	6.4	0.1	1.7	0.31	tr	0.06

注）nd は検出限界以下、tr は極微量検出を示す。

※平成 22 年 6 月改正され、現在基準値は 0.4mg/kg

資料：「平成 21 年版 さいたまの環境」（埼玉県環境部環境政策課）

(3) 苦情の状況

幸手市における土壌の汚染に関する苦情件数は 0 件である（表 5.2.1-7 及び図 5.2.1-3 参照）。

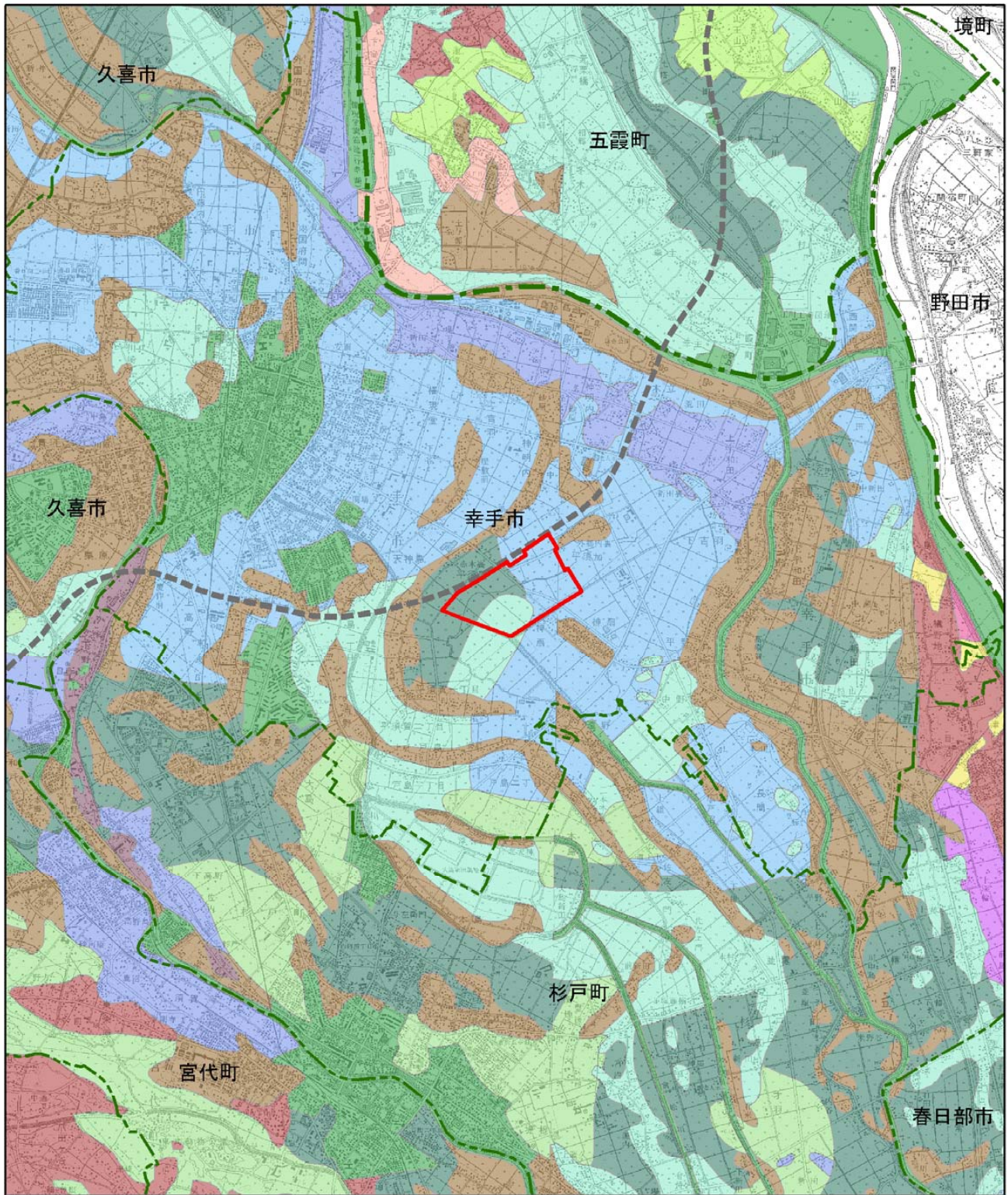


図 5.2.3-1 土壌図

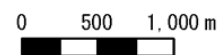
凡例

- 計画地
- 県境界
- 各市町村の行政界
- 圏央道(計画)

 乾性褐色森林土壌	 褐色低地土壌	 細粒グライ土壌
 厚層黒ボク土壌	 粗粒褐色低地土壌	 グライ土壌
 黒ボク土壌	 粗粒灰色低地土壌	 低位泥炭土壌
 多湿黒ボク土壌	 灰色低地土壌	 低地泥炭土壌
 黒ボクグライ土壌	 細粒灰色低地土壌	 黒泥土壌
 淡色黒ボク土壌	 粗粒グライ土壌	 その他

資料：「土地分類基本調査（土壌図） 1/50000」
 「鴻巣」（昭和50年、埼玉県）
 「水海道」（昭和56年、埼玉県）
 「水海道」（昭和60年、茨城県）

1:50,000



2) 地盤

(1) 地盤沈下の状況

埼玉県では、県平野部の地盤沈下状況を把握するため、毎年、水準基標を設置した 642 地点で調査を実施している。

幸手市は、「埼玉県生活環境保全条例」に基づく第一種指定地域であり、利用者は揚水機の吐出口の断面積合計が 6cm² を超える場合には、知事の許可を得る必要があり、6cm² 以下の場合には届出が義務づけられている。

関係市町における精密水準測量地点は図 5.2.3-2 に、測量成果は表 5.2.3-2 に示すとおりである。計画地周辺の過去 5 年間の変動量は全地点で沈下となっており、変動量は-2~-51mm である。

表 5.2.3-2 精密水準測量成果表 単位：mm

番号	市町名	所在地		各年別変動量					過去 5 年間の変動量	調査開始年からの変動量
				H16	H17	H18	H19	H20		
47-44	幸手市	上吉羽 648	香取神社境内	-11	-2	0	-10	+7	-15	-959
47-45		平須賀 2254	個人宅地内	-13	-2	+1	-10	+11	-13	-820
47-46		戸島 123	香取神社境内	-12	-1	+1	-9	+9	-12	-793
2021		中 3 丁目 6315-1	幸手市勤労福祉会館脇	-14	+1	-1	-10	+7	-16	-22
48-48		大字千塚 1338	宝性院境内	-14	-1	-4	-10	+5	-23	-1063
2022		高須賀 207	高須賀集会所	-29	-4	-6	-15	+3	-51	-956
49-24		大字惣新田 3799	稲荷神社	-11	-2	+5	-13	+5	-17	-381
56-24		大字平野 509	農村分化センター内	-13	-2	-5	-23	-2	-45	-551
56-25		大字下宇和田 134	(旧) 吉田第一小学校	-14	-5	-3	-11	+2	-30	-383
56-26		大字木立 512-8	八幡神社境内	-11	-3	0	-11	+3	-22	-351
56-27		大字下川崎 391-2	西中学校	-13	-1	-1	-11	+5	-21	-406
2020		大字上高野 1008	上高野小学校	-14	0	-1	-9	+9	-14	-371
07-01		大字木立字流作 1830-37	幸手地下水位観測所	-15	-5	-1	-12	+3	-31	-78
47-43		久喜市	青毛 946-5	春日部農林振興センター久喜普及部	-11	-1	-1	-10	+7	-16
55-28	狐塚 582		氷川神社境内	-18	-4	-7	-14	+2	-40	-713
58-01	大字吉羽 772-1		古利根川水循環センター内	-10	-1	+2	-12	+11	-10	-218
46-25	杉戸町	大字下高野 1090-1	埼玉みずほ農業協同組合高野支店	-12	-2	+4	-11	+9	-12	-636
46-26		清地 2-9-29	杉戸町役場内	-12	0	+3	-15	+7	-17	-163
2018		杉戸 2-1588-2	個人宅前交差点西側	-10	+1	+3	-10	+8	-8	-167
2019		大島 39	稲荷神社境内	-9	0	+2	-10	+9	-7	-70
47-49		並塚 787-1	(有) 武井鶏園内	-11	-2	+8	-8	+1	-13	-720
47-50		才羽地内	源長寺境内	-11	0	+6	-10	+2	-13	-39
49-23		屏風 115	八幡神社境内	-10	+1	+3	-12	+4	-15	-365
55-32		下高野 332-1	杉戸地下水位観測所脇	-10	0	+2	-10	+8	-10	-317
56-23		佐左門 1372-1	杉戸消防団第六分団前	-8	+2	+4	-8	+3	-8	-248
47-47		堤根 4545-1	上新田集会所	-	+2	-1	-10	+8	-	-1
47-48	堤根 3913	丸品寺境内	-8	+3	+3	-10	+10	-2	-2	

注 1) 58-01 および 47-48 は図の表示範囲外である。

資料：「平成 20 年 水準測量成果表」(埼玉県環境部水環境課)

(2) 苦情の状況

幸手市における地盤沈下に関する苦情件数は 0 件である (表 5.2.1-7 及び図 5.2.1-3 参照)。

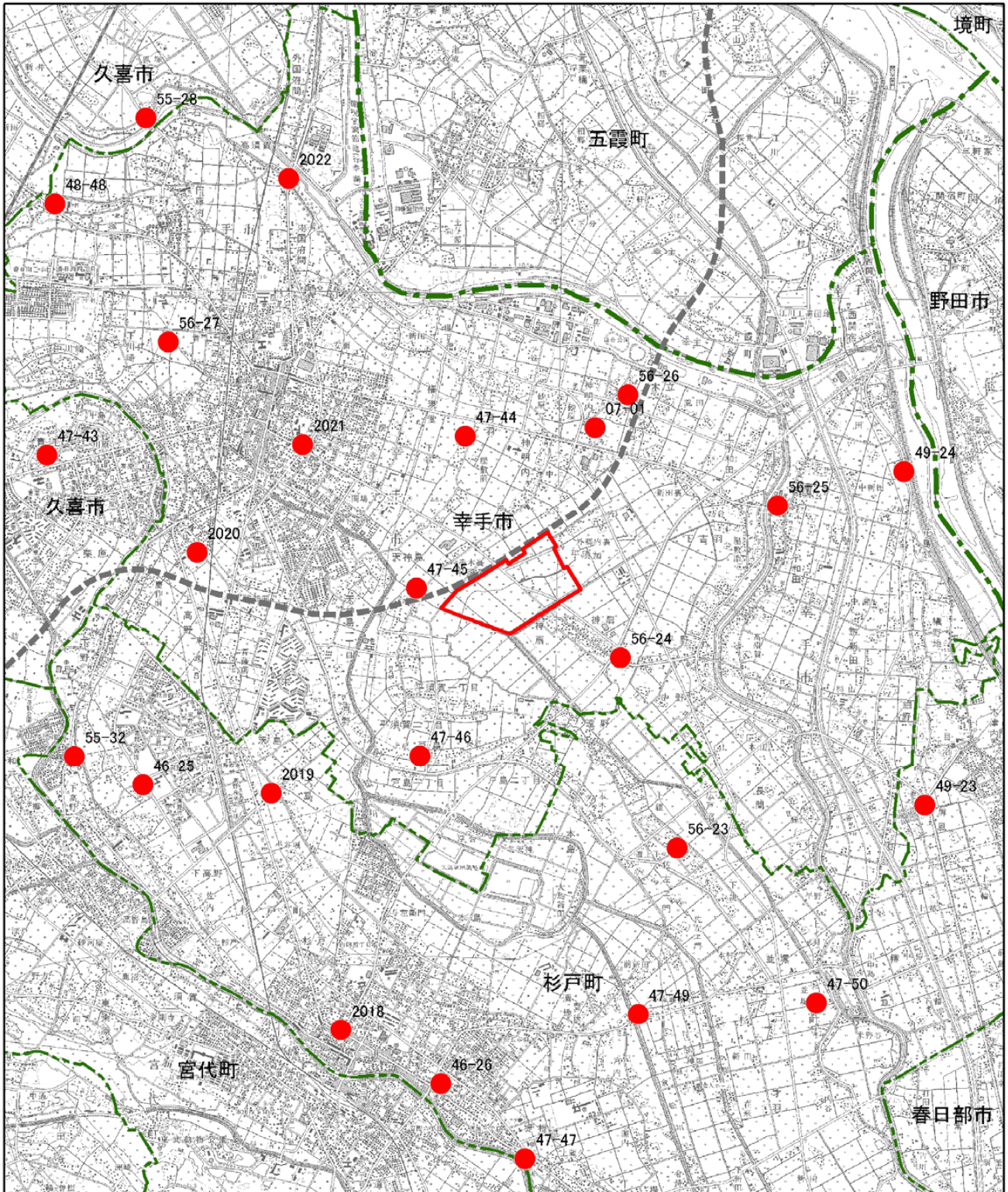


図 5.2.3-2 精密水準測量地点

凡例

- 計画地
- 精密水準測量地点
- 県境界
- 各市町村の行政界
- 圏央道(計画)

資料：「埼玉県地盤沈下調査報告書（平成20年度観測成果）」
（埼玉県環境部）

1:50,000 0 500 1,000 m



5.2.4. 地形及び地質の状況

1) 地形の状況

計画地及びその周辺の地形図は、図 5.2.4-1 に示すとおりである。

「1/50,000 土地分類基本調査地形分類図 鴻巣」(昭和 50 年、埼玉県)及び「1/50,000 土地分類基本調査地形分類図 小海道」(昭和 56 年、埼玉県)、「1/50,000 土地分類基本調査地形分類図 小海道」(昭和 60 年、茨城県)、「幸手市史 自然環境編Ⅱ」(平成 12 年、幸手市教育委員会)によると、計画地の位置する幸手市は、東部台地群と中央低地帯の境界に位置しており、東側に下総台地の一部があるほかは、大部分が沖積低地となっている。また、計画地の周辺は、自然堤防等の微高地や、後背湿地や旧流路跡(旧河道)等の低湿地からなる平坦地となっている。

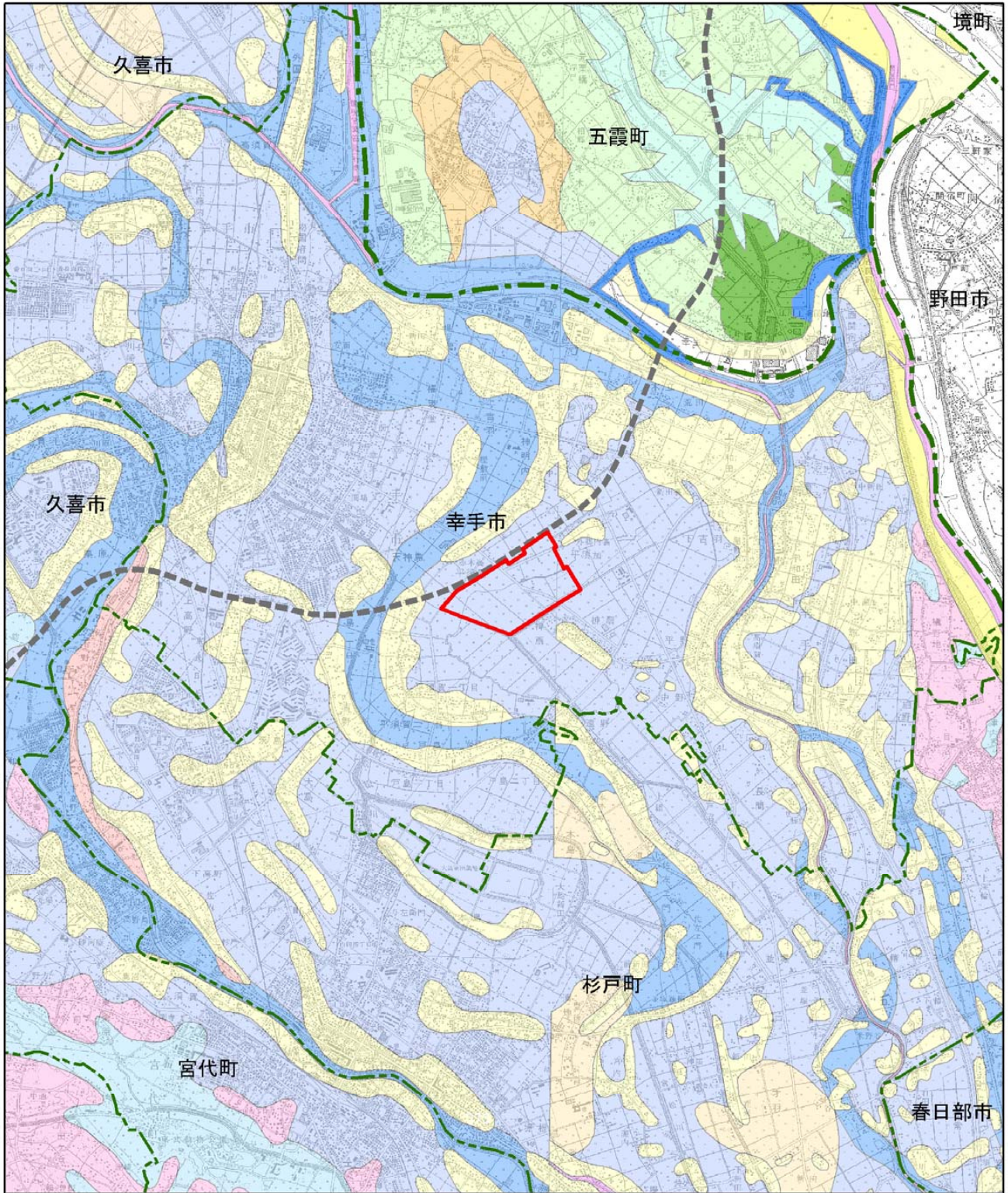




















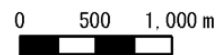
図 5.2.4-1 地形分類図

凡例

- | | | | |
|--|--|--|--|
|  計画地 |  火山灰台地(低位) |  自然堤防 |  崖および斜面 |
|  県境界 |  下位砂礫侵食段丘群 |  河原 |  被覆砂丘 |
|  各市町村の行政界 |  谷底平野 |  旧流路跡 |  湿地 |
|  圏央道(計画) |  後背湿地 |  三角州平野 |  未区分 |
| |  谷底平野および氾濫原 |  大地上の谷(谷地田) | |

資料：「土地分類基本調査(地形分類図) 1/50000」
 「鴻巣」(昭和50年、埼玉県)
 「水海道」(昭和56年、埼玉県)
 「水海道」(昭和60年、茨城県)

1:50,000



2) 表層地質の状況

計画地およびその周辺の表層地質の状況は、図 5.2.4-2 に示すとおりである。

計画地の周辺では、東側に火山性岩石のロームが帯状に分布するほか、未固結堆積物の砂質堆積物（自然堤防）や泥質堆積物（後背湿地）、泥質堆積物（自然堤防）が分布している。

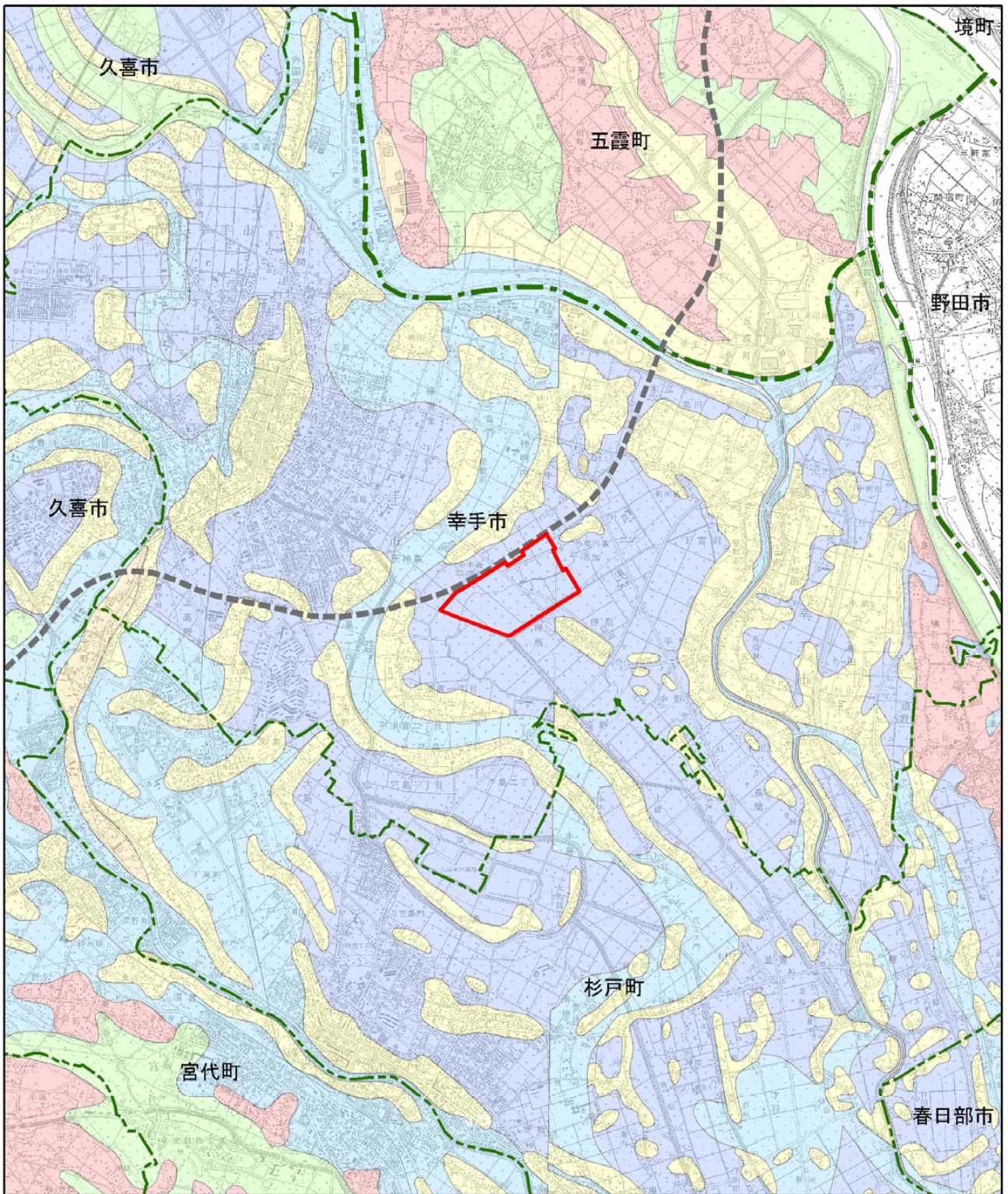













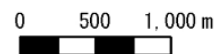
図 5.2.4-2 表層地質図

凡例

- | | | |
|--|---|---|
|  計画地 |  砂質堆積物(河原、氾濫原) |  砂泥体積物(旧流路跡) |
|  県境界 |  砂質堆積物(自然堤防) |  洪積世(ローム) |
|  各市町村の行政界 |  砂丘堆積物(旧流路跡) |  未区分 |
|  圏央道(計画) |  泥質堆積物(氾濫原の後背湿地) | |

資料：「土地分類基本調査(表層地質図) 1/50000」
「鴻巣」(昭和50年、埼玉県)
「水海道」(昭和56年、埼玉県)
「水海道」(昭和60年、茨城県)

1:50,000



5.2.5. 動物の生息、植物の生育、植生、緑の量及び生態系の状況

1) 動物

(1) 動物相

幸手市は埼玉県の一部に位置し、市の東側を江戸川、中川が南下し、最高標高 15.9m、最低標高 4.7m と標高差はわずか 11.2m の平坦地である。地勢は古東京湾の一部が陸地化したもので、東端には下総台地の一部があるものの、大部分は沖積低地が広がっている。

計画地は幸手市の中央付近に位置し、計画地から 3km 以内の範囲には幸手市以外に北側に五霞町、南側に杉戸町、西側に久喜市が含まれている。

「埼玉県レッドデータブック 2008 動物編」(平成 20 年 3 月、埼玉県)によると、計画地付近は、低地帯(標高 50m 以下)の中川・加須低地に属している。中川・加須低地においてレッドリストにあげられている種は、哺乳類はホンダタヌキ、ホンダカヤネズミ等 9 種(カテゴリーが EX:絶滅種は除く:以下同じ)、鳥類(繁殖鳥)はチュウサギ、コアジサシ等 24 種、鳥類(越冬鳥)はタマシギ、シラコバト等 36 種、爬虫類はアオダイショウ等 11 種、両生類はトウキョウダルマガエル等 4 種、魚類はヤリタナゴ、メダカ等 25 種が、昆虫類はチョウ目 19 種、ハチ目 5 種、ハエ目 5 種、コウチュウ目 32 種、シリアゲムシ目 1 種、カメムシ目 11 種、バッタ目 18 種、ハサミムシ目 2 種、カマキリ目 1 種、カワゲラ目 3 種、トンボ目 18 種、カゲロウ目 3 種があげられている。

また、「幸手市史 自然環境編Ⅱ」(平成 12 年、幸手市教育委員会)、「久喜市の動・植物(Ⅱ)」(平成元年、久喜市史編さん室)、「埼玉県動植物リスト」(埼玉県環境科学国際センターホームページ)、「オオタカ等保護指針」(平成 11 年、埼玉県)、「ガンカモ類の生息調査」(平成 19 年度、環境省)、及び「第 2 回自然環境保全基礎調査 埼玉県動植物分布図」(昭和 53・54 年度、環境庁)によると、幸手市では、哺乳類はホンダタヌキ、ホンドイタチなど 5 目 6 科 11 種、鳥類はチュウサギ、コアジサシなど 13 目 30 科 80 種、爬虫類はシマヘビ、アオダイショウなど 2 目 3 科 6 種、両生類はアマガエルなど 1 目 2 科 4 種、昆虫類はヘイケボタル等 12 目 146 科 716 種、魚類は 6 目 12 科 35 種が確認されている。

周辺地域では、哺乳類、爬虫類、両生類に関する分布情報は不明で、鳥類は 15 目 33 科 96 種、昆虫類は 16 目 161 科 840 種、魚類は 3 目 3 科 14 種が確認されている。

(2) 注目すべき動物種

「幸手市史 自然環境編Ⅱ」（平成 12 年、幸手市教育委員会）、「久喜市の動・植物（Ⅱ）」（平成元年、久喜市史編さん室）、「埼玉県動植物リスト」（埼玉県環境科学国際センターホームページ）、「オオタカ等保護指針」（平成 11 年、埼玉県）、「ガンカモ類の生息調査」（平成 19 年度、環境省）、及び「第 2 回自然環境保全基礎調査 埼玉県動植物分布図」（昭和 53・54 年度、環境庁）に掲載されている幸手市、久喜市、杉戸町、五霞町の確認種のうち、「埼玉県レッドデータブック 2008 動物編」（平成 20 年 3 月、埼玉県）や環境省のレッドリストにおいて、絶滅のおそれのある野生動物として注目される種は 138 種であった。内訳は表 5.2.5-1 に示すとおり、ホンドタヌキ、ホンドイタチの哺乳類 2 種、チュウサギ、コアジサシ、チョウゲンボウ等の鳥類 39 種、クサガメ、アオダイショウ、ヒバカリ、ヤマカガシの爬虫類 4 種、トウキョウダルマガエルの両生類 1 種、ゲンゴウウロブナ、ナマズ、メダカ等の魚類 12 種、キイトトンボ、クルマバッタ、ヘイケボタル等の昆虫類 59 種、ヨシダヒメヤスデ、コブヤスデの多足類 2 種、スジエビ、テナガエビ、ヌカエビ、モクズガニの甲殻類 4 種、マルタニシ、ナガオカモノアラガイ、ドブガイ等の軟体動物 15 種となっている。

また、「第 4 回自然環境保全基礎調査 埼玉県自然環境情報図」（平成 7 年、環境庁）によると、図 5.2.5-1 に示すとおり、計画地の周辺部において、イワツバメの集団繁殖地、サギ類の集団繁殖地が確認されている。

表 5.2.5-1 注目すべき動物種の一覧(1/3)

分類群	目名	科名	生息確認種		生息確認情報				注目すべき動物の選定基準						
			種名		幸手市	久喜市	杉戸町	五霞町	種の保存法※1	環境省RL※2	天然記念物※3	埼玉県RDB※4		茨城県RDB※5	
			和名	学名								中川・加須低地	全県		
哺乳類	イヌ	イヌ	ホンドタヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>	○								VU	RT	
	イタチ	イタチ	ホンドイタチ	<i>Mustela itatsi itatsi</i>	○									NT2	RT
合計	1目	2科			2種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	2種	0種
鳥類	カイツブリ	カイツブリ	ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>		○								NT1	NT1
			ミミカイツブリ	<i>Podiceps auritus</i>		○								VU	VU
			カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>		○								VU	VU
	コウノトリ	サギ	ヨシノイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>		○					NT			VU	VU
			チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>	○	○					NT			VU	希少種
			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	○	○								DD	DD
	カモ	カモ	オオハクチョウ	<i>Cygnus cygnus</i>		○								CR	CR
			コウノトリ	<i>Cygnus columbianus</i>		○								NT1	NT1
			トモエカモ	<i>Anas formosa</i>		○								VU	VU
			ハチマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>	○	○					NT			VU	希少種
			トビ	<i>Milvus migrans</i>	○	○								DD	DD
			オオカ	<i>Accipiter gentilis</i>		○				○	NT			EN	VU
			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>		○								NT2	NT2
			オオノ	<i>Butastur indicus</i>	○	○								VU	EX
			ハヤブサ	<i>Falco tinnunculus</i>	○	○								NT2	NT2
	ワル	クイ	クイ	<i>Rallus aquaticus</i>		○								VU	VU
			バン	<i>Gallinula chloropus</i>	○	○								NT2	NT2
	チドリ	チドリ	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	○	○								VU	NT1
			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	○	○								LP	LP
			カケ	<i>Vanellus vanellus</i>	○	○								NT2	NT2
		サギ	ウスラサギ	<i>Calidris acuminata</i>	○	○									希少種
			イソサギ	<i>Tringa hypoleucos</i>	○	○								NT2	NT2
			ヤマサギ	<i>Scolopax rusticola</i>		○								NT2	NT2
			オオノ	<i>Gallinago hardwickii</i>		○				NT				CR	希少種
	カモ	カモ	コブヤス	<i>Sterna albifrons</i>	○	○			○	VU				EN	EN
			シロハト	<i>Streptopelia decaocto</i>	○	○				VU				NT2	VU
	カウ	カウ	カウ	<i>Cuculus canorus</i>	○	○									希少種
	フクロ	フクロ	オバノ	<i>Ninox scutulata</i>		○	○							EN	RT
	アホ	アホ	アホ	<i>Alcedo atthis</i>	○	○								NT2	LP
	スズメ	ツグミ	トラツグミ	<i>Turdus dauma</i>		○									RT
			クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>		○									RT
		ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	○	○								VU	RT
			センツグミ	<i>Phylloscopus occipitalis</i>	○	○									RT
		ヒタキ	オオヒタキ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>		○									RT
		オオカ	オオカ	<i>Aegithalos caudatus</i>		○								EX	RT
		ホオ	ホオ	<i>Emberiza cioides</i>	○	○								VU	RT
			ホオ	<i>Emberiza fucata</i>		○								EX	CR
			アホ	<i>Emberiza spodocephala</i>	○	○									NT1
			ムクドリ	<i>Sturnus philippensis</i>		○									DD
合計	11目	19科			39種	20種	34種	1種	0種	2種	9種	0種	26種	37種	15種

表 5.2.5-1 注目すべき動物種の一覧 (2/3)

分類群	生息確認種		生息確認情報				注目すべき動物の選定基準									
	目名	科名	種名		幸手市	久喜市	杉戸町	五霞町	種の保存法※1	環境省RDB※2	天然記念物※3	埼玉県RDB※4		茨城県RDB※5		
			和名	学名								中川加須低地	全県			
両生類	カエル	アマカ ¹ カエル	トリキョウガ ¹ ルマカ ¹ カエル	<i>Rana porosa</i>	○					NT		NT2	NT2			
合計	1目	1科			1種	1種	0種	0種	0種	0種	1種	0種	1種	1種	0種	
爬虫類	カメ トカゲ	イカ ¹ メ	クサカ ¹ メ	<i>Geoclemys reevesii</i>	○							NT2	NT2			
		ヘビ ¹	アオカ ¹ イソウ	<i>Elaphe climacophora</i>	○							NT2	NT2			
			ヒバ ¹ カリ	<i>Natrix vibakari</i>	○								VU	VU		
			ヤマカ ¹ シ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	○								NT2	NT2		
合計	2目	2科			4種	4種	0種	0種	0種	0種	0種	4種	4種	0種		
昆虫類	トンボ	イトトンボ ¹	オオセシ ¹ イトトンボ ¹	<i>Cercion plagiosum</i>	○					CR+EN		CR+EN	CR+EN	希少種		
			キイトトンボ ¹	<i>Ceragrion melanurum</i>	○	○						CR+EN	CR+EN	NT2		
			ベニイトトンボ ¹	<i>Ceragrion nipponicum</i>	○	○					VU		CR	CR+EN	希少種	
			モントイトトンボ ¹	<i>Mortonagrion selenion</i>	○						NT		CR+EN	VU		
		モノサシトンボ ¹	オオモノサシトンボ ¹	<i>Coperia tokyoensis</i>	○						CR+EN		NT1	CR+EN		
		アオイトトンボ ¹	コバ ¹ アオイトトンボ ¹	<i>Lestes japonicus</i>	○						CR+EN		EX	EX		
		カワトンボ ¹	アオハダ ¹ トンボ ¹	<i>Calopteryx japonica</i>	○		○						EX	NT2		
		サナエトンボ ¹	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i>	○		○							EX	NT1	希少種
			ホナサナエ	<i>Gomphus postocularis</i>	○									EX	VU	
			ナゴ ¹ サナエ	<i>Stylurus nagoyanus</i>	○							NT		EN	NT1	
			カ ¹ サナエ	<i>Stylurus oculatus</i>	○							NT		CR+EN	CR+EN	危急種
		ヤンマ	アオヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i>	○	○								CR+EN	VU	希少種
			ササヤンマ	<i>Oligoaeschna pryeri</i>	○									VU	NT2	
			エリ ¹ トンボ ¹	トラフ ¹ トンボ ¹	<i>Epithea marginata</i>	○								EX	CR+EN	
			キイロヤマトンボ ¹	<i>Macromia daimoji</i>	○							NT		EX	CR	危急種
		トンボ	ヘ ¹ ウコトンボ ¹	<i>Libellula angelina</i>	○					○	CR+EN					絶滅種
			オオキトンボ ¹	<i>Sympetrum uniforme</i>	○						CR+EN		CR+EN	CR+EN	絶滅危惧種	
			コオロギ ¹	クマコオロギ ¹	<i>Modioceryx minor</i>	○								NT2	LP	
		バ ¹ ツタ	エゾ ¹ スズ ¹	<i>Pteronemobius vezoensis</i>	○									NT1	LP	
			キリ ¹ リス	クワムシ	<i>Mecopoda nipponensis</i>	○		○						EN	EN	危急種
			バ ¹ ツタ	カルマバ ¹ ツタ	<i>Gastrimargus marmoratus</i>	○		○						NT2	NT2	
			ナキイコ ¹	<i>Mongolotettix japonicus</i>	○										LP	
		ナナフシ	ナナフシ	エダ ¹ ナナフシ	<i>Phraortes illepidus</i>	○									DD	
		ハサミシ	クギ ¹ ハサミシ	クギ ¹ ハサミシ	<i>Forficula scudderi</i>	○								NT2	NT2	
		カメシ	ウナカ	クワシ ¹ ウナカ	<i>Euides speciosa</i>	○	○							NT1	NT1	
			ハネカ ¹ ウナカ	キジ ¹ ハネ ¹ ウナカ	<i>Rhotana satsumana</i>	○									NT1	
			ヨコバ ¹ イ	カリムヨコバ ¹ イ	<i>Mimotettix kawamurae</i>	○	○						DD			
			アムシ	エサキアムシ	<i>Gerris esakii</i>	○						NT		NT1	NT1	絶滅危惧種
			コオムシ	コオムシ	<i>Diplonychus japonicus</i>	○	○					NT		CR	CR	希少種
			サシカ ¹ ム	トゲ ¹ サシカ ¹ ム	<i>Polididus armatissimus</i>	○	○							NT1	NT1	
			ハリカメシ	ヒメトゲ ¹ ハリカメシ	<i>Coriomeris scabricornis</i>	○	○							NT1	NT1	
		コウチュウ	オサムシ	チビ ¹ アオ ¹ ムシ	<i>Eochlaenius suvorovi</i>	○						CR+EN		NT2	NT1	
			ミス ¹ スマシ	オオ ¹ ミス ¹ スマシ	<i>Dineutus orientalis</i>	○								NT1	VU	
	セシ ¹ カ ¹ ムシ		セシ ¹ カ ¹ ムシ	<i>Helophorus auriculatus</i>	○						VU		EN	EN	絶滅危惧種	
	シテ ¹ ムシ		ヒメ ¹ シテ ¹ ムシ	<i>Nicrophorus tenuipes</i>	○		○							LP		
	ヒメト ¹ ロムシ		カス ¹ ト ¹ ロムシ	<i>Pseudamophilus japonicus</i>	○						NT		NT1	NT1		
	タマシ		ヤマ ¹ タマシ	<i>Chrysochroa fulgidissima</i>	○	○									危急種	
	ホタル		ヘ ¹ ホタル	<i>Luciola lateralis</i>	○	○								EN	NT1	
	カミキリ		ヨツ ¹ ホ ¹ シカミキリ	<i>Stenagrion quadrinotatum</i>	○	○					VU					
			ア ¹ カ ¹ シオ ¹ ア ¹ カミキリ	<i>Chloridolum japonicum</i>	○	○								NT1	NT2	
			トラ ¹ フカミキリ	<i>Xylotrechus chinensis</i>	○	○								VU	NT2	
			シロ ¹ シ ¹ カミキリ	<i>Batocera lineolata</i>	○	○								VU	NT2	
			ニホ ¹ シ ¹ ハ ¹ チ	<i>Tachytes nipponicus</i>	○									NT2	NT2	
	チョウ		セリ ¹ チョウ	キン ¹ イモシ ¹ セリ	<i>Leptalina unicolor</i>	○	○	○				NT		NT2	NT2	
			オオ ¹ チャ ¹ バ ¹ セリ	<i>Polytrema pellucida</i>	○	○	○						NT2	NT2		
		シロ ¹ チョウ	ウマ ¹ ロキ ¹ チョウ	<i>Eurema laeta</i>	○	○					VU		EX	EX		
		シシ ¹ メ ¹ チョウ	ミ ¹ ト ¹ リ ¹ シ ¹ メ ¹	<i>Neozephyrus japonicus</i>	○	○	○						NT1	NT1		
タテ ¹ ハ ¹ チョウ		コム ¹ ハ ¹ キ	<i>Apatura metis</i>	○	○	○						VU	NT1			
		アサ ¹ イモシ ¹	<i>Ladoga glorifica</i>	○	○	○						CR	NT2			
		ヒト ¹ シ ¹ チョウ	<i>Nymphalis xanthomelas</i>	○	○	○						VU	VU			
		オオ ¹ ム ¹ サキ	<i>Sasakia charonda</i>	○						NT		CR	VU	希少種		
シ ¹ ヤ ¹ メ ¹ チョウ		シ ¹ ヤ ¹ メ ¹ チョウ	<i>Minois dryas</i>	○	○	○						VU	NT2			
イホ ¹ カ ¹		イホ ¹ カ ¹	<i>Brahmaea wallichii</i>	○	○							CR	RT			
ヤマ ¹ ユカ ¹		オ ¹ カ ¹ ミス ¹ ア ¹	<i>Actias gnoma</i>	○	○							LP	LP			
		ヤマ ¹ ユ	<i>Antheraea yamamai</i>	○	○							VU	RT			
ヤカ		フシ ¹ キシ ¹ タ ¹ ハ	<i>Catocala separans</i>	○									DD	NT2		
		ユミ ¹ ノ ¹ チ ¹ ハ	<i>Melapia electaria</i>	○											希少種	
	ホ ¹ ノ ¹ オ ¹ ビ ¹ ア ¹ ツ ¹ ハ	<i>Parallela arctotaenia</i>	○	○	○									希少種		
	ハ ¹ ノ ¹ ビ ¹ ア ¹ ツ ¹ ハ	<i>Zanclognatha obliqua</i>	○	○								CR+EN	CR+EN	希少種		
合計	8目	37科			59種	42種	37種	10種	0種	1種	20種	0種	49種	53種	17種	
魚類	ウナギ	ウナギ	ウナギ ¹	<i>Anguilla japonica</i>	○							DD				
			マルカ	<i>Tribolodon brandti</i>	○									NT2	NT2	
			ハス	<i>Opsariichthys uncirostris</i>	○	○								VU		
			ウチ ¹ フキ	<i>Abbottina rivularis</i>	○									VU		
			スゴ ¹ モロコ	<i>Squalidus biwae</i>	○	○								NT		
			リ ¹ カ	<i>Ischikauia steenackeri</i>	○	○								EN		
			キン ¹ フナ	<i>Carassius auratus ssp.</i>	○										NT2	NT2
	ナマス	ナマス	ナマス ¹	<i>Silurus asotus</i>	○									NT2	NT2	
			ア ¹ カ ¹ サ	<i>Liobagrus reini</i>	○	○								VU	DD	DD
	メ ¹ ダ ¹ カ	メ ¹ ダ ¹ カ	メ ¹ ダ ¹ カ	<i>Orzias latipes</i>	○	○							VU	VU	希少種	
	ス ¹ ズ ¹ キ	ハセ ¹	ジ ¹ ズ ¹ カ ¹ ハセ ¹	<i>Gymnogobius castaneus</i>	○								EN	VU	NT2	
合計	5目	6科			12種	12種	6種	0種	0種	0種	10種	0種	6種	6種	1種	

表 5.2.5-1 注目すべき動物種の一覧 (3/3)

分類群	生息確認種			生息確認情報				注目すべき動物の選定基準							
	目名	科名	種名		幸手市	久喜市	杉戸町	五霞町	種の保存法※1	環境省RL※2	天然記念物※3	埼玉県RDB※4		茨城県RDB※5	
			和名	学名								中川・加須低地	全県		
多足類	ヒヤダシ	カサアヤダシ	ヨシガヒヤダシ	<i>Iosidaiulus tuberculatus</i>	○							CR	CR		
	ヒヤダシ	カサアヤダシ	コバヤダシ	<i>Pseudocatapyrgodesmus glaucus</i>	○							EN	EN		
合計	2目	2科		2種	2種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	2種	0種	
甲殻類	ヒ	テナカヒ	スジヒ	<i>Palaemon paucidens</i>	○							○	RT		
		テナカヒ	テナカヒ	<i>Macrobrachium nipponense</i>	○							○	RT		
		スエヒ	スエヒ	<i>Paratya compressa improvisa</i>	○								○	VU	希少種
		イカニ	モクスカニ	<i>Eriocheir japonicus</i>	○								NT2	NT2	
合計	1目	3科		4種	4種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	4種	4種	1種	
軟体動物	ナ	カニシ	マルカニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>		○				NT		NT2	NT2		
		カニナ	ヒナチリノカニナ	<i>Semisulcospira libertina trachea</i>	○										希少種
	モリアカ	モリアカ	モリアカ	モリアカ	<i>Radix auricularia japonica</i>		○				NT		DD	NT2	
		ヒラマキ	カワネガ	カワネガ	<i>Camptoceras terebra hirasei</i>		○				CR+EN		EX	EX	
			トキョウヒラマキ	トキョウヒラマキ	<i>Gyraulus tokyoensis</i>		○							LP	LP
			ヒラマキ	ヒラマキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i>		○				NT			LP	LP
		カワコサ	カワコサ	<i>Laevapex nipponica</i>		○							DD	NT2	
	マイ	カモリアカ	カモリアカ	カモリアカ	<i>Oxyloma hirasei</i>		○				NT		VU	VU	
		キバサキ	キバサキ	キバサキ	<i>Vertigo eogea eogea</i>		○					VU			
		ハッコウマイ	マルツツガ	マルツツガ	<i>Parastitula reinhardti</i>		○						VU	VU	
		オナジマイ	カトコオハ	カトコオハ	<i>Agista proba goniosoma</i>		○				NT				
	イカ	イカ	トブカ	トブカ	<i>Anodonta woodiana</i>	○	○						DD	NT2	
			イカ	イカ	<i>Unio douglasiae</i>	○								NT2	
		シジミ	マシジミ	マシジミ	<i>Corbicula leana</i>	○	○				NT				
		トブシジミ	トブシジミ	<i>Sphaerium japonicum</i>		○							VU	NT2	
合計	4目	12科		15種	4種	13種	0種	0種	0種	8種	0種	10種	11種	1種	

※1 種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年6月）における国内希少野生動植物種

※2 環境省レッドリスト：「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物I及び植物IIのレッドリストの見直しについて」（平成19年8月、環境省）
 「鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」（平成18年12月、環境省）

EX：絶滅 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種

EW：野生絶滅 飼育・栽培下でのみ存続している種

CR+EN：絶滅危惧I類 絶滅の危機に瀕している種

CR：絶滅危惧IA類 ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

EN：絶滅危惧IB類 IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

VU：絶滅危惧II類 絶滅の危険が増大している種

EN：絶滅危惧IB類 IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

NT：準絶滅危惧 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

DD：情報不足 評価するだけの情報が不足している種

LP：絶滅のおそれのある地域個体群 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※3 天然記念物：「文化財保護法」（昭和25年5月）における天然記念物及び、埼玉県、茨城県、幸手市、久喜市、杉戸町、五霞町指定の天然記念物

※4 埼玉県レッドデータブック2008

EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧IA類 EN：絶滅危惧IB類 VU：絶滅危惧II類 NT1、NT2：準絶滅危惧

DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群 RT：地帯別危惧※全県評価のみ

○：生息は確認されているが、カテゴリーに該当しない。

※5 茨城県レッドデータブック2000

絶滅種：本県ではすでに絶滅したと考えられる種

絶滅危惧種：本県で絶滅の危機に瀕している種

危急種：本県で絶滅の危険が増大している種

希少種：本県で存続基盤が脆弱な種

2) 植物

(1) 現存植生の状況

計画地及びその周辺は中川低地とよばれ、気候による森林帯区分からみると暖温帯に属する。中川低地は、古くは利根川の氾濫原であり、かつては広大な低湿地が広がっていた。しかしながら、現在では農耕地として広く利用されているほか、市街地化が進行している。計画地周辺の植生としては、図 5.2.5-2 の現存植生図に示すとおり、水田雑草群落が多くみられ、次いで畑雑草群落や放棄水田雑草群落などが多く分布している。

また、「改訂・埼玉県レッドデータブック 2005 植物編」（平成 17 年、埼玉県）によると、幸手市とその周辺の市町において、表 5.2.5-2 に示す植物群落が希少な植物群落として選定されている。

表 5.2.5-2 希少な植物群落の一覧

市町名	群落の位置	群落名	植生の種類	埼玉県がコラー
幸手市	花島・槇野地	江戸川河川敷 湿性植物群落	湿地植物群落	2：消滅の危険
幸手市	松石・高須賀	高須賀池 水生植物群落	池沼植物群落	1：減少
杉戸町	木野川	木野川古墳群 周辺の植物群落	湿地植物群落	4：危機的消滅寸前
久喜市	青毛	青毛のタヌキモ 自生地	池沼植物群落	5：消滅

資料：「改訂・埼玉県レッドデータブック 2005 植物編」（平成 17 年 3 月、埼玉県環境部自然環境課）

(2) 植物相の状況

「改訂・埼玉県レッドデータブック 2005 植物編」（平成 17 年、埼玉県）によると、埼玉県内に生育する維管束植物は 2,300 種となっている。また、「幸手市史 自然環境編Ⅱ」（平成 12 年、幸手市教育委員会）によると、幸手市域で生育が確認された維管束植物は、過去に記録があった種類を含めると 748 種であり、現在生育しているのは 594 種とされている。特に、在来植物の消失が著しかったのは、草原や湿地に生育する種で、開発に伴う生育地の消失が主たる要因とされている。

(3) 注目すべき植物種

幸手市において現在生育が確認されている 594 種のうち、注目すべき種として選定されている種は、表 5.2.5-3 に示す 35 種である。なお、埼玉県が特に保護の必要な種として指定している「県内希少野生動植物種」に該当する種は確認されなかった。

表 5.2.5-3 注目すべき植物種

科名	種名	確認状況	指定状況	
			環境省※1 レッドリスト	埼玉県※2 レッドデータブック
ホウライシダ	ミズワラビ	◎	-	EN
タデ	ナガバノウナギツカミ	○	NT	NT
	ホソバイヌタデ	◎	NT	VU
キンボウゲ	コキツネノボタン	◎	VU	DD
マツモ	マツモ	◎	-	EN
ドクダミ	ハンゲショウ	◎	-	NT
オトギリソウ	ヒメオトギリ	◎	-	CR
アブラナ	コイヌガラシ	◎	NT	NT
ユキノシタ	タコノアシ	◎	NT	EN
マメ	レンリソウ	◎	-	CR
ウリ	ゴキヅル	◎	-	VU
ミソハギ	ヒメミソハギ	◎	-	NT
アリノトウグサ	フサモ	◎	-	EN
ミツガシワ	ヒメシロアサザ	◎	VU	CR
シソ	ミゾコウジュ	◎	NT	VU
ゴマノハグサ	キクモ	◎	-	NT
	カワヂシャ	◎	NT	NT
キク	カワラニンジン	◎	-	EN
	フジバカマ	◎	NT	
	アキノハハコグサ	◎	VU	VU
	オグルマ	◎	-	NT
	ホソバオグルマ	◎	VU	EN
	オナモミ	○	VU	NT
オモダカ	アギナシ	◎	NT	NT
トチカガミ	トチカガミ	◎	NT	EN
	ミズオオバコ	◎	VU	VU
	コウガイモ	◎	-	VU
ヒルムシロ	エビモ	◎	-	VU
	イトモ	◎	NT	CR
カヤツリグサ	ウマスゲ	◎	-	NT
	ヤガミスゲ	○	-	NT
	カンエンガヤツリ	◎	VU	VU
	ヒメガヤツリ	◎	-	VU
	アゼテンツキ	◎	-	VU
	コマツカサススキ	○	-	VU

確認状況：“◎” 標本によって確認された現生種。“○” 補足データ。

資料：「幸手市史 自然環境編Ⅱ」（平成 12 年、幸手市教育委員会）

「絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト 植物Ⅰ（維管束植物）」（平成 19 年、環境省）

「改訂・埼玉県レッドデータブック 2005 植物編」（平成 17 年、埼玉県）

※1 環境省レッドリスト

EX：絶滅 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種

EW：野生絶滅 飼育・栽培下でのみ存続している種

CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 絶滅の危機に瀕している種

CR：絶滅危惧ⅠA類 ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

EN：絶滅危惧ⅠB類 ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

VU：絶滅危惧Ⅱ類 絶滅の危険が増大している種

EN：絶滅危惧ⅠB類 ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

NT：準絶滅危惧 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

DD：情報不足 評価するだけの情報が不足している種

LP：絶滅のおそれのある地域個体群 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※2 埼玉県レッドデータブック

EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧

DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群

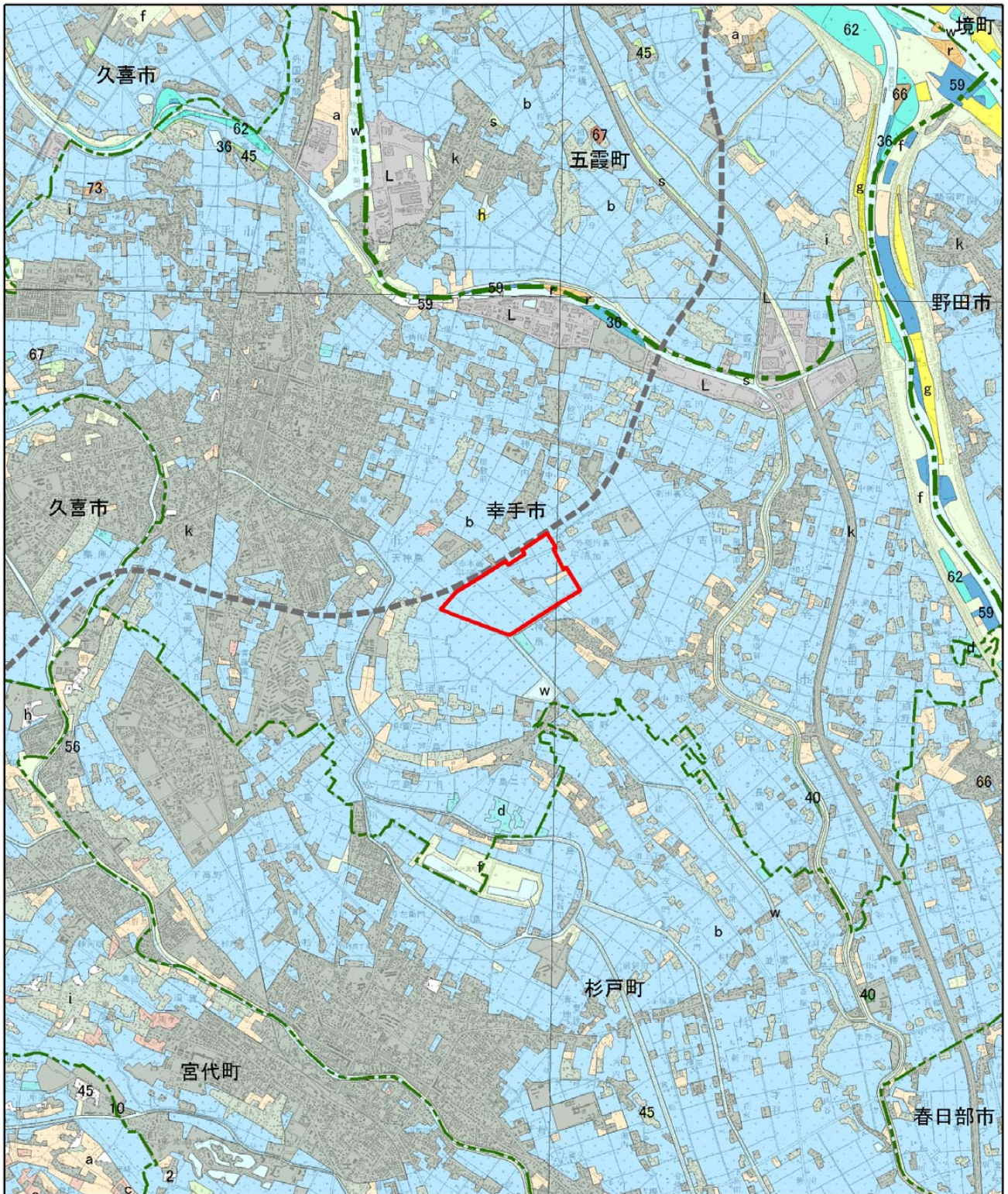


図 5.2.5-2 現存植生図

凡例

計画地

県境界

各市町村の行政界

圏央道(計画)

- 2 ヤマボウシブナ群集
- 47 イヌシデアカシデ群落
- 36 ヤナギ低木群落(VI)
- 40 ケヤキシラカシ群落
- 45 クヌギコナラ群集
- 56 伐採跡地群落(VII)
- 59 ヨシクラス
- 62 オギ群集
- 66 スギ・ヒノキ・サワラ植林

- 67 アカマツ植林
- 73 モウソウチク林
- a 畑雑草群落
- b 水田雑草群落
- c 放棄畑雑草群落
- d 放棄水田雑草群落
- e 果樹園
- f 路傍・空地雑草群落

- g 牧草地
- h ゴルフ場・芝地
- i 緑の多い住宅地
- k 市街地
- L 工場地帯
- r 自然裸地
- s 残存・植栽樹群地
- w 開放水域

資料：「第6回・第7回自然環境保全基礎調査」
(植生調査情報提供ホームページ)

1:50,000

